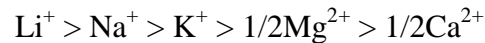


離液順列(りえきじゅんれつ) | Lyotropic series

水溶液の表面張力()の溶質の濃度変化を調べると、溶質濃度と共に1) が僅かに増加する、2)変化しない、3)減少する、の三タイプに分類される。分類1)に属する溶質は水に溶けて表面張力を少し上昇させるもので、水溶液中の無機塩の効果がこれに属する。これは水溶液中で無機塩は気/液界面へ負吸着することを意味する。即ち、無機塩は水溶液表面から内部に斥けられることを意味する。無機塩が水溶液表面へ負吸着する原因の一つとして溶質分子が起こす水和現象が挙げられる。同じ価数の正、負イオンから成る無機塩でも水の表面張力を上昇させる能力が違うのは、イオンの水和の程度の差によるものと考えられている。正、負イオンを表面張力の上昇度の順に並べると、



この順列をイオンの離液順列と呼ぶ。この順列は多少その順序に変動があるが電解質水溶液が関与するいろいろな現象に現れるもので、イオンの水和の順に対応している。

(古澤)